

円で生きている  
人もいる。  
縁で生きている  
人もいる。

少数民族の暮らしから、  
何を学べるのだろうか？  
小林先生、教えてください。

私は長年、「法と慣習」という観点から、  
アジアの少数民族について研究を  
してきました。たとえば、  
中国西南地方にくらすモン人たちの社会。  
そこは母系社会で、土地や牛馬といった  
資産はすべて女性が受け継ぎ、  
大家族の生活を切り盛りしています。  
「通い婚」の慣習が続いているのも、  
珍しいところですよ。  
多くの観光客が訪れるようになり、  
近代的な文化も流入してきました。  
しかし彼らは古くからの慣習を守り、家族や村の  
人々との縁を大切に生きることを選択しています。  
日本が直面しているような核家族化、  
介護問題などとは無縁です。  
このような少数民族の暮らしは、私たちの価値観を  
揺さぶります。そして「人間の幸せとは？」  
という問いを突きつけてくるのです。



身体環境共生学科  
教授 小林正典



和光3分大学

ひとりを光らせる

和光大学